

**まちづくり市民協議会
まちづくりワークショップ
報 告 書**

令和 3 年 3 月

はじめに — まちづくりワークショップの概要 —

1 まちづくりワークショップの目的

政策分野ごとの次期総合計画で具体的に取り組む事業について、ワークショップを通じて委員のアイデアなどを収集すること。

2 まちづくりワークショップの意見の把握について

本ワークショップにおいては、大きく「ひとづくり」「ものづくり」「まちづくり」の3つテーマについてグループに分け、下記に示す各グループの検討分野の中から、本市にとって重要と思われる主要検討分野を各グループで話し合いました。

グループ	検討分野
ひと	各種福祉（地域・高齢者・障害者など）、子育て、学校教育、生涯学習、文化芸術、スポーツ、交流、人権、男女共同参画など
もの	農林業、工業、企業誘致 起業・創業など
まち	商業、観光、道路、交通体系、防災、防犯、交通安全など

- まち全体の現状をさまざまな立場の住民から引き出し、把握すること。
- 課題の解決方法や、良いところを伸ばす方策について市民自身に考えてもらうこと。
- 方策についての市民意見を、キーワードなどでわかりやすい形で集約すること。

各分野の「魅力(強み)と不十分なところ(弱み)」を話し合い、「魅力(強み)をさらに磨きをかけるべきこと」、「不十分なところ(弱み)を魅力(強み)にかえるために必要なこと」について、より専門的で磨きのかかった事業イメージを整理し、実現可能な「未来の光市の姿」について意見を交わしました。

3 まちづくりワークショップにおける役割分担

●市民

ワークショップの主演。参加者の感想や意見が出しやすい場づくりを行う。

●事務局職員

ワークショップ開催に関する案内・情報提供を行う。

●コンサルタント

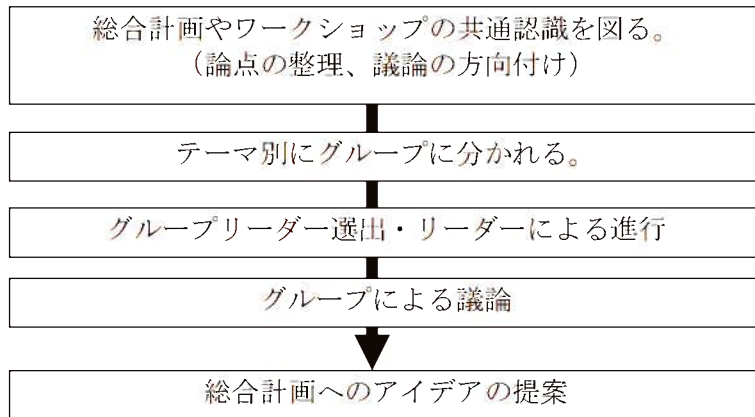
ファシリテータとして、中立的な立場で議事進行に努める。

4 まちづくりワークショップの基本的な進め方

ワークショップの手法としてKJ法を採用しました。

これは、参加者各自の意見をカードに記入し、それを分類しながら模造紙に貼っていき、同様の意見をまとめたり、重要な意見を整理したりしながら意見の集約化・体系付けを行っていく手法です。

また、基本的な作業の進め方は、以下のイメージのとおりです。



ワークショップの進行中は、以下の4つのお約束を参加者全員に守っていただくようお願いしました。

まちづくり市民協議会 まちづくりワークショップ 4つのお約束

- ①参加者全員が、自分の意見を言うことができるようにすること（ほかの参加者と重複した意見でも構わない）。
- ②各自の自由な意見や発想を途中で批判しないこと。
- ③特定の者・団体への一方的な批判や要求の場にしないこと。
- ④各自の意見に耳を傾け、これからのまちの将来に役に立つ意見として、グループの中でまとめあげていこうと協力すること。

※各回の検討内容と進め方の詳細については、本報告書「参考資料」に記載。

目 次

I グループ別とりまとめ	1
1 ひとグループ	1
2 ものグループ	6
3 まちグループ	10
II 参考資料	14

I グループ別とりまとめ

「ひと」「もの」「まち」の3つのグループごとに、「魅力（強み）と課題（弱み）」に関する意見を出してもらい、魅力（強み）はさらに磨きをかけ、課題（弱み）は魅力（強み）に変えていくために、今後取り組むべき内容を検討するとともに、それらが実現した時の理想の姿を思い描き、とりまとめました。

1 ひとグループ

本グループでは、「各種福祉（地域・高齢者・障害者など）」「子育て」「学校教育」「生涯学習」「文化芸術」「スポーツ」「交流」「人権」「男女共同参画」について議論を行った。

（1）光市の魅力をさらに磨きをかけるために

対象魅力 (強み)	魅力(強み)をさらに磨きをかけるために
<ul style="list-style-type: none">・串団子の街“光”・地元のおまつりを継承する人がいる	<ul style="list-style-type: none">・浅江、島田、光井、室積、大和地区それぞれに風土文化があるので、地域意識を高め、今後も風土文化はつきりさせていく
<ul style="list-style-type: none">・人と人とのつながり ⇒あたたかさ ⇒安心 ⇒すみやすい	<ul style="list-style-type: none">・民生委員とのつながりを強化する・行政側が特定の日を指定し全市での運動会を盛り上げる・子育てしやすい環境、教育、福祉、おっばい宣言のまちを目指して、学校と地域の一体化し、その中で人と人とのつながることができるしくみをつくる

対象魅力 (強み)	魅力(強み)をさらに磨きをかけるために
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が元気に活躍している ・お年よりの多い地区なので、集まって楽しく過ごす事が良い事 と思っている ・サロンに参加して元気にすごしている人が多い ・高齢の方が子どもも見守ってくれる 	<p>【交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コバルトウォークなどの健康イベントを増やし盛り上げる ・身内のいない一人でお住まいの方の手助けを、自治会、いきいきサロン単位で実施し自治会長・民生委員などにお世話を願う ・高齢者と若い人たち、子ども達との交流が出来る場をつくり、高齢の方が子どもも見守ってくれるしくみをつくる ・地域で声かけして、高齢者と若い人たちに、いきいきサロン、グラウンドゴルフなど参加してもらう ・運転支援機能の優れた車両を購入した際は、市から購入補助金を出し、支援を行う他、各地区からの光市立病院へのアクセスを充実するなど、交流の機会を増やす <p>【健康】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康維持のため定期的に健康診断を受ける ・百歳体操を奨励し参加者を増やすためとして、楽しく集える場を作り、終了後、お茶会などを催す ・各家庭に百歳体操を認知してもらうため、希望者にDVDを無料で配布する ・高齢者が元気に活躍するため、バランスの良い食事習慣といった、食育の充実を図る

対象魅力 (強み)	魅力(強み)をさらに磨きをかけるために
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会で子育てしている ・ 子育て環境を充実させようと努力している ・ コミュニティ・スクールの活動が活発である 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世帯をターゲットにしたイベントを開催する ・ 公園やテーマパークといった子どもが遊べる場所を増やす



(2) 光市の魅力に変えるために

対象課題 (弱み)	魅力(強み)に変えるために
<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ・スクールの内容が十分ではない ・ 光市のウォーキング人口は多いが、スポーツ交流村での体験ツアーがない ・ ボランティアの高齢化問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校を活用し人の集う（繁る）機会を増やす ・ 総合体育館でのスポーツ交流など、月に1回年12回光市内の遠足の機会を作る
<ul style="list-style-type: none"> ・ 光市の年間行事をカレンダー化するなど情報の伝達方法が十分でない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光市のLINEアカウント作成し、地域情報を発信 ・ 光市のLINEスタンプ作成し収益化を目指す ・ デジタル化する一方アナログのつながりを大切にする
<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光大使を十分に活用していない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年100人の子ども観光大使をつくる
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口の減少が激しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援制度をPRする（おっばい宣言都市のPR）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校を卒業しても市内に留まる生徒が少ない ・ 若い人が光市に定着しない ・ 個人の能力などをコミュニティでいかす機会が少ない ・ 若い人の働くところがない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者の雇用を増やすため、市街地からのアクセスをよくして、駅周辺を活発化し、若者が働く場所ができる枠組みをつくる ・ 光駅前に観光PR用の大きな看板を作る ・ 小中学校でのふるさと学習を通じて、大人になった後、光市に戻って子育てをしてくれるしくみをつくる ・ 伝統行事でお祭りの継承のためのしくみをつくる

(3) 未来の光市の姿

未来の光市の姿

- ・串団子の町の1つ1つの団子がとことん特徴を発揮して多様性のある町づくりを目指せ
- ・光れ輝け光っ子町ぐるみの子育てをしている
- ・昔と変わらない風景をいつまでも残すために学習機会を設ける
- ・学校と地域が一つになって子ども達を育てている
- ・まつりが連携して町が盛り上がっている
- ・おっばい都市としてやさしさが見られる
- ・子ども地域の特徴を誇れる事象をよく教えて郷里を誇れる子に育てている
- ・住み慣れた所で安心安全に暮らしている
- ・育った地域に自分のものを残すためみんなで1つの大きな木を植えている
- ・元気で地域に貢献できている
- ・デマンドバスが光市に走っていてどこからでも乗れる
- ・住みたい人だれもが安心していきいきと笑顔があふれているまちになっている



2 ものグループ

本グループでは、「農林業」「工業」「企業誘致」「起業・創業」などについて議論を行いました。

(1) 光市の魅力をさらに磨きをかけるために

対象魅力 (強み)	魅力(強み)をさらに磨きをかけるために
<ul style="list-style-type: none">・子育てしたくなる(しやすい)街・子ども医療費への助成をしている・母子保健推進員さんが各地域にいて初めて子育ても安心できる・人口対比福祉施設が充実している	<ul style="list-style-type: none">・親同士が子育ての悩みを気軽に話せる場所を提供し、父親も含めた相談体制をつくる・こども医療費への助成を全国トップレベルまで目指す・ターゲットを絞った子育てを目指して、他地域と差別化を進める・共働き支援で、企業内保育所を増やしたり、生活必需品が買いやすくしたりすることで、子育てしやすいしくみづくりをすすめる・子どもを遊ばせる場所を充実し、子ども達が安心して遊べるコミュニティを総合的に大きくする・子ども用品の「リユース」「リデュース」「リサイクル」を確立・行政や母子保健推進員さんなどが協力して、企業に対して育児講座を開催する

対象魅力 (強み)	魅力(強み)をさらに磨きをかけるために
<ul style="list-style-type: none"> ・ さらに高度な産婦人科の医療の提供ができる ・ 妊産婦の悩みや不安を取り除くきめ細やかな相談体制がある ・ 産前産後の妊産婦に対する健康診査をしている ・ ファミリーケア制度など子育て支援の充実している ・ 唯一他地域から来る産婦人科（2施設）がある ・ 公立病院が2つある ・ 光市中立病院が新しくなった 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光市の産婦人科（2施設）とあいば一く（健康増進課）のさらなる連携を行う ・ 母子保健推進員がお母さんと保健師とのパイプ役を強化 ・ 高齢化社会に対応し、安心感と産婦人科を備えた病院をもち、徳山中央病院との差別化を図る ・ 待たされないスムーズな医療
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農用地が多く農業に取り組むことができる ・ 農業の法人化が進み若い人が参加した ・ 年間の日照時間が長いのに農産物の成育に好条件である ・ 光バナナや東荷イチゴなど魅力的なフルーツがある ・ 農産物、海産物が豊か 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農作物の発信力強化 ・ イチゴやバナナといったハウス栽培で、全国で販売できる量と質の確保 ・ 若者の農業分野への就職を安定させるため、体験農園、貸農園を強化し、農業・農地へのマッチングを図る ・ 里の厨のような漁業の中心施設を設置し、地産地消を促進する

(2) 光市の魅力に変えるために

対象課題 (弱み)	魅力(強み)に変えるために
<ul style="list-style-type: none"> ・未だ古い産業構造のままであり、第二次産業へ傾向し、他産業とのバランスが悪い ・散策出来る商店街が無く、ロードサイド型の店舗が多く小規模小売店が少ない ・経済活動が保守的閉鎖的になっている ・誇れる名物、名産品も無い 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代が安心して働ける（未来のある）産業を育てる ・1つの産業がつぶれても（衰退しても）大丈夫な産業バランスをつくる
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町から集客できる商業施設が無い ・店の認知度が低い ・小規模零細農家が多く地域を代表する特産品がない ・IOT産業など次世代産業に乏しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業を基軸としながら、農・水産業やサービスを拡げ、新しい働き方にあわせたテレワーク環境の充実を図る
<ul style="list-style-type: none"> ・若者が求めるようなお店が少ない ・システムマッチングの機会が少ない ・光でしか買えないモノ、コトが無い ・個人商店の減少、高齢化 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者向けの商業施設の充実し、薬局以外の買い物の選択肢を増やす ・農業、漁業、商業、工業の分野で、これからの若い世代が安心して働ける環境づくりを推進し、収入の増加、安定を図る

対象課題 (弱み)	魅力(強み)に変えるために
<ul style="list-style-type: none"> ・ニューファーマーが本気で農業に取り組めない環境がある(獣害が有る) 	<ul style="list-style-type: none"> ・規制を見直し、徳山、下松といった周辺都市が導入したものを、安易に導入せず、光市で十分検討したうえで導入する
<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりが弱くなっている ・行動を背中で見せる人が少なくなった 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てや道づくりといった関心ごとを共有できる仲間と出会えるなんでも相談窓口を設置する

(3) 未来の光市の姿

未来の光市の姿

- ・家庭・地域・企業で協力して子育てする街
- ・“made in 光”で生活できる街
- ・産業で豊かな光市
- ・コミュニケーションで気軽に助け合える光市

3 まちグループ

本グループでは、「商業」「観光」「道路」「交通体系」「防災」「防犯」「交通安全」などについて議論を行いました。

(1) 光市の魅力をさらに磨きをかけるために

対象魅力 (強み)	魅力(強み)をさらに磨きをかけるために
<ul style="list-style-type: none"> ・島田川の遊歩道がきれい ・美しい自然に溢れた町 特に海岸、河川 ・自然が美しい(山、海、川) 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦といった地域のみんなで整備をする大規模な活動をするためには、発信力をもった人を動かす人材必要だが、現在不足しており、今後も活動を続けるために、元気な高齢者を活用しつつ、引継ぎも継続的に実施する ・休憩場所、広場づくりなどで人が集まりやすい場所づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・地区毎の伝統・行事を大切にしている(祭・昔ながらの行事) ・一通り生活に必要な物を買う事ができる ・医療施設が充実している ・子育て支援施設が充実している 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のコミュニティ・スクールを活用しつつ、子ども達にとってマイナスのしくみをつくらないまちづくりを目指す ・それぞれの地区で支え合いながら、ノウハウややり方を共有する ・ためしにやっている考えを持ち、試行錯誤をしていく土壌をつくっていく ・子ども・若者に伝える場をつくり、伝統行事を継続する

対象魅力 (強み)	魅力(強み)をさらに磨きをかけるために
<ul style="list-style-type: none"> ・各地域のコミュニティ活動が活発である 	<ul style="list-style-type: none"> ・市などの予算化による支援を行い活性化させ、コミュニティ活動を若手にまかせることで、後継者を獲得する
<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場がある ・海、山、川などの自然が多い ・グリーンツーリズム、ワーケーションの適地である 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かなのでキャンプの活性化させ、その魅力を生かすキャンプ場などを整備する（特に海の活用） ・ジビエ料理に活用する山の幸や海の幸など、自然を感じるPR ・グリーンツーリズム、ワーケーションのために、インフラ整備として、Wi-Fi環境を整える ・室積魚市場定期開催

(2) 光市の魅力に変えるために

対象課題 (弱み)	魅力(強み)に変えるために
子どもや若者が楽しめる場所がない	<ul style="list-style-type: none"> ・ つるみ、さつき幼稚園の園庭を公園活用する ・ 地域毎に目玉となる行事、お祭りなどをつくり皆で盛り上げる ・ 子ども達が安心して遊べる広場、公園をつくる
自動車での移動が可能な世代は交通面が便利だが、車が無いと不便な地域が多い(山間地)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者、障害を持っている人にやさしい交通手段を地域毎につくる
観光資源に山の魅力が出てこない 自然が多いのでその魅力を生かす	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政がどんどん広告し、宣伝をして行く ・ 美しい自然が多いといったことだけではなく、文化情報の発信機能そのものを観光の魅力として活用する
高齢者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化により生活が困難となっている人達へ目を向け、8050問題や2040年の団塊ジュニア世代の引退といった新たな問題を見据えた支援を行う

(3) 未来の光市の姿

未来の光市の姿

- ・人や人の想いを動かす想いに共感する地域のリーダーを育てている
- ・各地域の「良い取り組み」を共有するまちづくりコミュニティづくりがある
- ・海・山・川に恵まれた豊かな暮らしをしている
- ・豊かな自然に恵まれた海の幸山の幸のブランド化が成功している
- ・世代、地域にあった自助、共助、公助による多面的な新しい交通手段をもっている
- ・光市にしかない古代日本の再発見ルートづくりをもっている
- ・光市の歴史とロマンをサイクリングでたどれる



II 参考資料

【各回の検討内容と進め方】

区 分	主な内容
第1回 令和2年 10月6日(火) 18:45-20:30	<p>【テーマ：光市の魅力(強み)と課題(弱み)の抽出とその集約】</p> <p>① オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局あいさつ(ワークショップの目的など) ・グループごとに自己紹介 ・アイスブレイク ・グループリーダーの選出 ・ワークショップの進め方など説明 <p>② 各グループの分野ごとに光市の「魅力(強み)と課題(弱み)」について自由に話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■カードへの記入 参加者は意見の内容を2行程度の言葉にしてポストイット(以下カード)に書き込む。 ■模造紙への貼り付け グループリーダーを中心に、模造紙に、出てきたカードを貼り付ける。 ■各項目をひとかたまりにして短い言葉やキーワードにする 各項目別にできあがったカードを、模造紙上でリーダーを中心に同じ言葉・キーワードでくくれるものを集めて、ひとかたまりにする。 ひとかたまりごとに共通する言葉や短い文章を参加者全員で考え、かたまりを囲み、その言葉などを書き込む。 <p>③ 他のグループに行って自由に意見を交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由に他のテーブルに移動。その際テーブルには、グループリーダーだけが残り、他のメンバーは他のテーブルに移動。 ・それぞれのテーブルに残ったリーダーは、新しいメンバーを迎えて簡単な自己紹介をした後、そのテーブルで話し合われた内容を説明し、その後同じテーマについて話し合いを続ける。

区 分	主な内容
<p style="text-align: center;">第2回 令和2年 11月12日 (木) 18:40-20:00</p>	<p>【テーマ：光市の未来をデザインしよう】</p> <p>① 第2回ワークショップ資料の配付、前回提案意見の確認 分野別項目別に体系化した資料を作成し、各参加者には A3 程度のコピーを配布する。</p> <p>② ワークショップスタート</p> <p>■光市を採点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回配布した採点表に各グループの分野について、100 点満点で何点かを、その理由とともに用紙に記入する。 ・各自、その点数と理由について、順次グループ内で発表する。 <p>■前回の「魅力(強み)」「課題(弱み)」を踏まえ、光市の未来を語り、ことばにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自の点数を 100 点にもっていくために、前回で出された意見を踏まえ、「魅力(強み)をさらに磨きをかけるために」必要なこと、「課題(弱み)を魅力(強み)に変えるために」必要なことを具体的な施策や事業などに結びつくように提案を行い、カードに記入し、拡大資料に貼りつける。 ・対象とする「魅力(強み)」「課題(弱み)」については、グループ内で話し合い、グループワークを始める前に数点抽出する。 ・出された提案を踏まえて、各グループの分野ごとに、光市の未来の姿を、下記のように表現してみる。
<p style="text-align: center;">第3回 令和3年 3月16日(火) 18:40-20:00</p>	<p>【テーマ：光市の未来をデザインしよう (第2回のつづき)】</p> <p>① 第3回ワークショップ資料の配付と振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回途中までの検討結果を分野別項目別に体系化した資料を作成し、各参加者には A3 程度のコピー及び前回の点数評価で挙げられた評価コメント整理分を配布します。 <p>② ワークショップスタート</p> <p>■これまでの意見を踏まえ、光市が目指すまちの姿を語り、集約する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回のグループワークの続きとして、グループ内で話し合っ抽出した「魅力(強み)」「課題(弱み)」のほか、新たなものを抽出し、「魅力(強み)をさらに磨きをかけるために」必要なこと、「課題(弱み)を魅力(強み)に変えるために」必要なことを具体的な施策や事業などに結びつくように提案を行い、カードに記入し、拡大コピーに貼りつける。 ・出された提案を踏まえて、各グループの分野ごとに、光市の未来の姿を、下記のように表現してみる。

【光市まちづくり市民協議会まちづくりワークショップ参加メンバー】

班名	テーマ	名簿 No.	氏 名	所 属 団 体 等
1班 (7名)	ひと	3	有 竹 英 喜	光市地球温暖化対策地域協議会会長
		8	上 田 博 幸	光市ボランティア連絡協議会会長
		22	中 村 浩	光地区労働者福祉協議会会長
		28	前 田 玲	公募委員
		30	恵 雅 子	公募委員
		34	山 根 明 子	光市男女共同参画推進ネットワーク会長
		36	和 田 明 俊	光市連携・協働教育推進協議会会長
2班 (6名)	ひと	1	足 立 典 子	光市自主防災組織アドバイザー 防災士
		2	天 野 加 代 子	光市食生活改善推進協議会会長
		9	梅 本 貞 則	光市社会福祉協議会会長
		11	清 田 美 貴	公募委員
		15	小 島 裕 一	公募委員
		16	下 畑 拓 也	東山口信用金庫光・室積支店支店長

班名	テーマ	名簿 No.	氏 名	所 属 団 体 等
3班 (6名)	もの	12	國 宗 麻 衣	公募委員
		17	杉 本 めぐみ	光市母子保健推進協議会
		18	鈴 木 陽 子	公募委員
		24	羽 田 司	徳山大学講師(地域共創センター所属)
		27	藤 本 司	(株)山口銀行光支店支店長
		29	松 原 眞喜雄	光市観光協会会長
4班 (6名)	もの	6	今 津 和 樹	大和商工会
		7	岩 佐 光 恵	NPO法人虹のかけ橋副理事長
		10	岡 田 光 憲	周防小学校区学校運営協議会
		26	福 島 雅美子	公募委員
		32	森 田 悦 登	里の厨事業協同組合代表理事
		33	山 下 純 宏	公募委員
5班 (6名)	まち	4	池 本 順 子	光市人権施策推進審議会
		5	石 川 博 之	(株)ステラリンク代表取締役
		19	高 橋 佳 嗣	光市コミュニティ連絡協議会
		23	西 村 仁 志	公募委員
		25	平 島 千代子	光商工会議所女性会会長
		31	森 下 孝 明	公募委員

班名	テーマ	名簿 No.	氏 名	所 属 団 体 等
6班 (6名)	まち	13	熊野悦子	光市老人クラブ連合会副会長
		14	栗崎 聡	日鉄ステンレス(株)製造本部 山口製造所 光エリア 総務室主幹
		20	高 畠 修	公募委員
		21	竹 本 新 助	光市民生委員児童委員協議会会長
		35	山 本 實	光市連合自治会理事
		37	渡 邊 トシ子	公募委員